

市民検討会 まちづくりのアイデア ＜現在地維持パターン＞

資料

アイデアのポイント

- 公共施設は、現在の位置を基本とし、既存の建物を増築やリノベーション又は建替えにより、機能の維持・改善を行う。
- 鹿沼公園は、現在の魅力の維持を基本とするが、図書館との一体的な利用や野球場を用途転換し、誰でも気軽に遊べる広場や防災施設を新たに整備する。
- まちは、現在の構造を大きく変えず、駅前から公園に至る道路の緑豊かな景観の保全・育成や自転車を活かしたまちづくりをする。

セールスポイント

どうして？ Why・誰が喜ぶ？ Who

- 現在の環境(施設・公園・まち)を維持・改善すると、駅から近いことによる利便性の維持ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ
- 災害・感染症のリスク分散ができ、地域住民・公共施設利用者が喜ぶ
- 公園内に一年を通して誰もが遊べる施設や、子育て世代の憩いと交流の場を創設すると、誰でも気軽に遊べ、公園利用者・子育て世代が喜ぶ
- 特色・魅力ある駅前から公園へのつながり、まちと公園の一体感による魅力をアップすると、地域住民・公園利用者・駅利用者・来訪者が喜ぶ

課題

- 財源（増築・リノベーション・建替え費、仮設建築・撤去費など）の確保
- 老朽化対策として増築・リノベーションが適切か（耐用年数を考慮）
- 増築・リノベーションでは部屋の形などが限られるため、ニーズの不整合を解決できるか
- 公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決と整備費の確保
- 世の中が変化する中で、現在のまちの環境を現在のまま維持する困難さ

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア ＜鹿沼公園中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- 公共施設は、鹿沼公園を中心に集約・複合化することで、公園や各施設を一体的に活用するとともに、管理の効率化を図る。
- 鹿沼公園は、現在の魅力を活かしつつ、公共施設整備に合わせて一体的な再整備を実施する。
- 駅から公園への動線のバリアフリー化や交通動線の整理等を実施し、鹿沼公園を中心としたまちづくりを行う。また、公共施設の跡地は、売却等による事業費の縮減を図るほか、駐輪場や駐車場としての活用を検討する。

セールスポイント

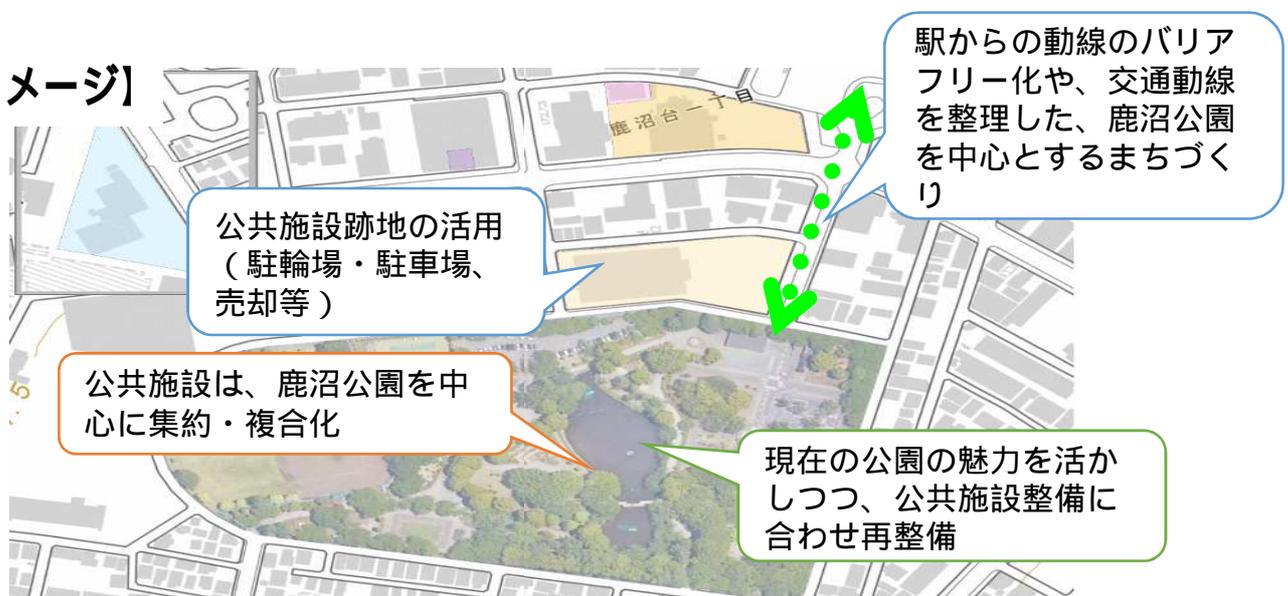
どうして？ Why・誰が喜ぶ？ Who

- 様々な施設が集約・複合化されることにより、特に複数施設の利用者の利便性が向上するほか、維持管理費を縮減できる
- カフェ等の施設を併設しにぎわいを創出することで、施設・公園利用者が喜ぶ
- 仮設の公共施設を設置することなくサービスの継続が可能のため、既存の施設利用者が喜ぶ
- 公共施設の跡地を売却することにより事業費が縮減できるほか、まちのにぎわいを創出できるため、地域住民が喜ぶ
- 老朽化している公園施設（遊具や園路）も併せてリニューアルすることができるため、遊具等の公園施設利用者や高齢の利用者が喜ぶ

課題

- 既存の公園の良さを残せるような再整備をする必要がある
- 時代に見合った新しい施設を設置する場合、財源をどのように確保するのか
- にぎわい施設の採算が取れるか
- 公共施設跡地利用のされ方

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア ＜図書館敷地中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- 図書館敷地と公園駐車場敷地を一体的に活用し、公共施設を複合化により再整備する（一部の公共施設は駅前の駐輪場と合わせて再整備）
- 公園施設の機能充実を図るとともに、公園内に雨、風、寒さをしのげるような休憩場所（カフェ等）や密が避けられる屋外には机やベンチを整備する
- 駅から公園までの道を整備し、公園の入口を真正面に変更する
- 公共施設の跡地を有効活用する

セールスポイント

どうして？ Why ・ 誰が喜ぶ？ Who

- 公園と図書館用地の有効活用が可能となり、複合施設利用者同士だけでなく、公園利用者を含めた交流が広がる
- 行政の窓口サービスを利用する人が、駅に近い場所でサービスを受けることができる
- 淵野辺駅南口の玄関口としてふさわしい空間ができ、まちのにぎわい創出につながり、地域住民が喜ぶ
- 施設整備の財源を確保でき、事業の実現可能性が高まり、次世代に過度な負担を残さない形で引き継ぐことができる

課題

- 図書館敷地や駅前駐輪場を活用するため、仮設施設の建設が必要になる可能性
- 財源確保（複合施設の建設、公園リニューアル、駅から公園までの道の整備）
- カフェ等の事業採算性（事業者の確保）
- 公共施設跡地利用のされ方

【配置イメージ】



市民検討会 まちづくりのアイデア ＜公民館敷地中心パターン＞

資料

アイデアのポイント

- ・ 公共施設は大野北公民館敷地に集約・複合化し、駅から近いことによる利便性を維持する。
- ・ 鹿沼公園は、野球場を多機能スポーツ広場に見直し公園利用者層の拡充を図る。
- ・ まちは、駅から公園までの通りの景観を統一することにより、憩いの場所を増やしつつ公園利用者層の拡充を図る。

セールスポイント

どうして？ Why・誰が喜ぶ？ Who

- ・ 駅近施設の利便性を維持すると公共施設利用者（特に高齢者層）が喜ぶ。
- ・ 多機能スポーツ広場にすると野球以外の多くのスポーツ愛好者、地域住民が喜ぶ。
- ・ 憩いの場所が増えると地域住民、駅利用者、公園利用者が喜び、公園まで行ってみたいくなる者が増える。
- ・ 図書館跡地を駐車場として整備することで、非常時の防災拠点や次の建て替え時の代替用地として確保できる

課題

- ・ 公民館を建て替える際の代替地確保が必要
- ・ 財源（建替費、仮設建築・撤去費等）の確保
- ・ 公園が抱えている課題（老朽化、安全対策）の解決
- ・ 駐車場から複合施設までの距離が長くなる（障がい者用駐車場は施設敷地内に確保）

【配置イメージ】

